

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：腫瘍内科プログラム  
病院名：四国がんセンター

2. 診療科（専門領域）：消化器がん・肺がん・乳がん・血液腫瘍

3. コースの概要

各種がんの診断から標準治療、支持療法、臨床試験まで幅広く研修を行います。並行して「日本臨床腫瘍学会専門医のための研修カリキュラム」に準拠して、臨床腫瘍学についても研修を行います。また腫瘍内科医として、緩和医療にも携わっていただき、緩和治療とインフォームドコンセント技術も学んでいただきます。

4. 短期目標

各種がんの標準的治療法を修得し、治療方針の決定ができるようになることを目標とする。また、化学療法における支持療法についてもその修得を目標とする。

5. 長期目標

がん患者との交流を通してコミュニケーションスキルやインフォームドコンセント技術を修得するとともに、当院で実践されている様々なチーム医療に参画し、医師以外のコメディカルスタッフとの協調を修得する。

6. 取得手技

- ・各種がんの標準的治療法
- ・化学療法における各種支持療法
- ・がん患者に対するコミュニケーションスキルとインフォームドコンセント技術
- ・医療スタッフとのチーム医療実践
- ・希望があれば各臓器専門医や内視鏡専門医（消化器・呼吸器）の取得も可能

7. 研修期間：6ヶ月

8. 募集人数：若干名

## 9. 診療科の実績（令和4年度）

### ■入院患者数

食道がん	胃がん	大腸がん	肝臓がん	胆道がん	膵がん
233	535	615	120	48	279
肺がん	乳がん	血液がん			
1,180	1,179	135			

### ■外来化学療法件数（経口抗がん剤はこの件数には含まれない）

胃・食道	大腸	肝・胆	膵臓	肺	乳腺	血液
938	1,257	192	786	1,167	3,208	284

## 10. 診療科の指導体制

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 10名

日本血液学会血液内科専門医 2名

日本消化器病学会専門医 12名

日本呼吸器学会専門医 4名

日本乳癌学会専門医 7名

研修責任者 上月 稔幸（経験年数25年）

## 11. コンセプト

当院は NHO 内では数少ないがん専門病院で、愛媛県の都道府県がん診療連携拠点病院やがんゲノム医療拠点病院に指定されており、中・四国地区における各種がんの“high volume center”として機能しています。よって、がん薬物療法専門医の取得にとって最適の環境となっています。もちろん、内科認定医や各臓器専門医あるいは消化器内視鏡専門医の取得も可能です。

## 12. 共通領域研修について

腫瘍内科以外にも、がんゲノム医療、緩和ケアや放射線診断治療といった関連領域の研修も可能です。また、当院は全国のNHOの病院の中で10病院に併設されている臨床研究センターを有しており、臨床研究にも力を入れています。がん領域の治験・臨床試験に数多く参画していますので、これらの臨床試験にふれることでその内容の理解ならびに実施能力を修得することも可能です。